

決算補足説明資料

FY25 上半期

2025年8月8日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

Contents

1. FY25 上半期連結業績
2. FY25 通期連結業績予想
3. トピック

将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、営業取引から発生した為替差損益、その他の営業収益・費用を調整し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加算しております。連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

FY〇〇：20〇〇年12月期

当上半期より、IFRS18号を早期適用いたします。
理由としては主に下記のとおりです。

- 当社の営業利益に関し、外貨建て現預金残高が多いことで生じる為替評価の変動幅を低減し、事業の成果を簡潔に把握できるようにするため
- 中計FY30の初年度である当期からの導入が適切と考え、その最短スケジュールが当上半期からであるため

IFRS18号の適用による主な変更点は下記のとおりです。

項目	IFRS18号 適用前	IFRS18号 適用後
売上収益	変更なし	
営業利益	その他の収益・費用で原則すべての為替差損益を計上し、営業利益に影響あり	- 営業取引（売上債権及び仕入債務）から発生した為替差損益は営業区分で計上し、営業利益に影響あり - 投資取引（現金預金及び貸付金）から発生した為替差損益は投資区分で計上し、営業利益に影響なし - 財務取引（借入金）から発生した為替差損益は財務区分で計上し、営業利益に影響なし
当期利益	変更なし	
当期利益 （増減分析項目）	- 以下の項目で増減分析を実施 ➢ 持分法投資損益 ➢ 金融収益・費用 ➢ 法人所得税費用 ➢ 非継続事業からの損益	- 以下の項目で増減分析を実施 ➢ 投資区分 ➢ 財務区分 ➢ 法人所得税費用 ➢ 非継続事業からの損益 - 持分法投資損益は投資区分へ - 金融収益・費用のうち、受取利息及び配当金は投資区分へ、利息費用は財務区分へ - 法人所得税費用及び非継続事業からの損益は変更なし

*当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

当上半期より、IFRS18号を適用し損益計算書に営業、投資、財務の3つの区分を設けて開示しております。前期の数値も遡及して修正しております。

IFRS18号適用前の損益計算書	
売上収益	
売上原価	
売上総利益	
販売費及び一般管理費	
その他の収益	
その他の費用	
営業利益	
持分法による投資損益	
金融収益	
金融費用	
税引前当期利益	
法人所得税費用	
継続事業からの当期利益	
非継続事業からの当期利益	
当期利益の帰属：	
親会社の所有者	
非支配持分	

IFRS18号適用後の損益計算書	
売上収益	
売上原価	
売上総利益	
販売費	
研究開発費	
一般管理費	
営業取引から発生した為替差損益	
その他の営業収益	
その他の営業費用	
営業利益	
持分法による投資損益	
受取利息及び受取配当金	
投資取引から発生した為替差損益	
その他の投資収益	
その他の投資費用	
財務及び法人所得税前当期利益	
借入金及びリース負債に係る利息費用	
その他の財務収益	
その他の財務費用	
税引前当期利益	
法人所得税費用	
継続事業からの当期利益	
非継続事業からの当期利益	
当期利益の帰属：	
親会社の所有者	
非支配持分	



FY25 上半期連結業績

- 売上収益は、FY24 1Qに一過性要因による増収があり、対前年同期で減収を見込んでいたが、音響機器関連事業の販売好調により増収で着地
- 売上収益、営業利益、当期利益、いずれも5/9付修正予想を上回り着地
- 個社別では、対前年同期で、テイボーは減収、AlphaTheta及びJLabは増収

FY25 通期連結業績予想

- 上半期の進捗率は高く推移したものの、不確実性を考慮して5/9付修正予想を維持

Contents

1. **FY25 上半期連結業績**
2. FY25 通期連結業績予想
3. トピック

- 売上収益は、FY24 1Qに一過性要因による増収があり、対前年同期で減収を見込んでいたが、音響機器関連事業の販売好調により増収で着地
- 営業利益は、前年同期は為替評価において評価益を計上、当上半期は評価損を計上した影響により減益であるものの（FY24 上半期 +8億円 / FY25 上半期 △1億円）、進捗率高く推移
- 当期利益は、前年同期は為替評価益及び株式売却益があった影響により減益

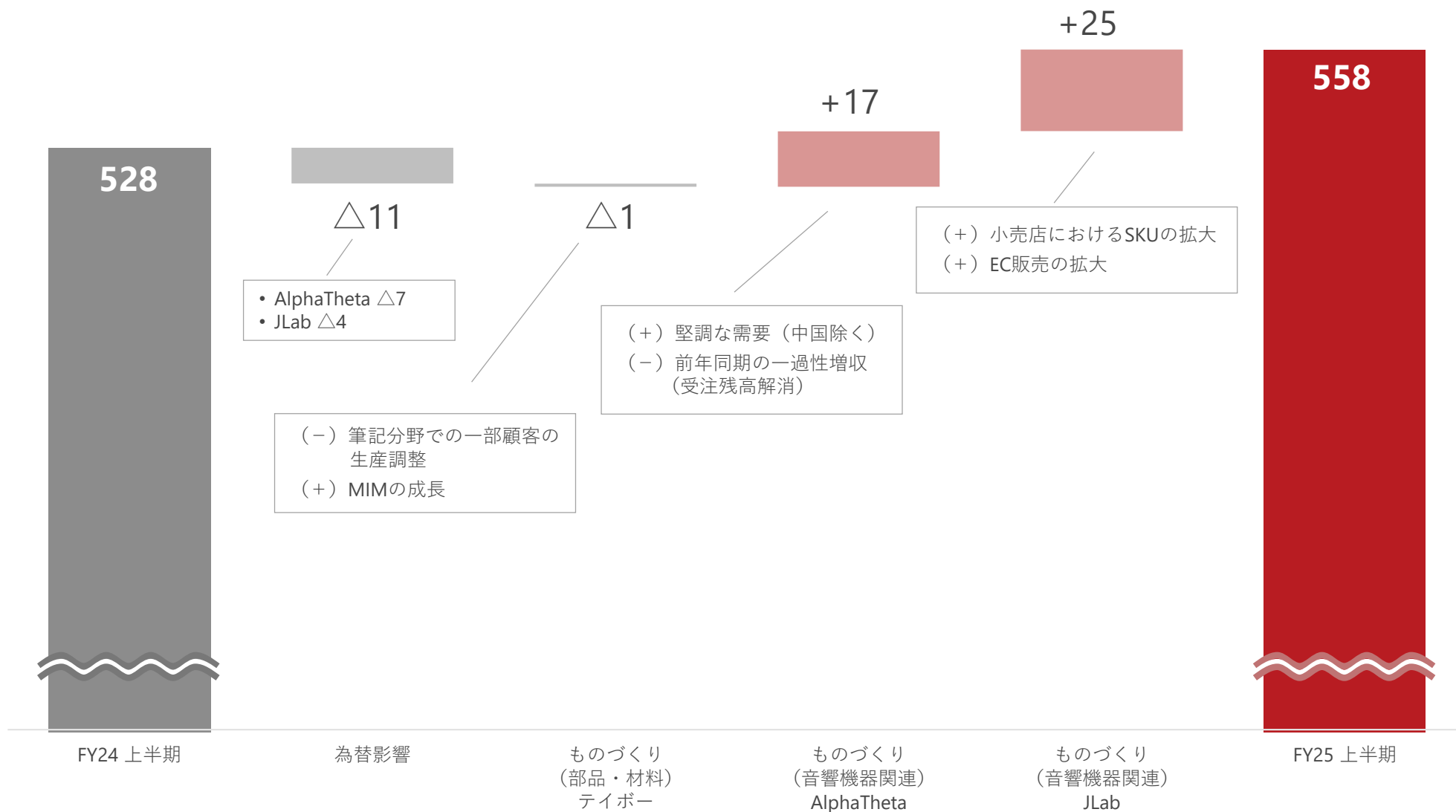
単位：百万円		FY24 上半期	FY25 上半期	増減額	増減率
売上収益		52,763	55,811	+3,048	+5.8%
事業EBITDA		14,040	13,491	△549	△3.9%
事業EBITDAマージン		26.6%	24.2%	△2.4pt	-
営業利益		12,413	11,104	△1,309	△10.6%
当期利益		11,484	7,257	△4,226	△36.8%
為替レート (平均)	米ドル (円)	152.3	148.6	△3.7	-
	ユーロ (円)	164.6	162.1	△2.5	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	161.1	144.8	△16.3	-
	ユーロ (円)	172.3	169.7	△2.6	-

5/9付修正予想に対して、いずれの項目も上回り着地

単位：百万円		FY25 上半期 5/9付修正予想	FY25 上半期 実績	進捗率
売上収益		51,300	55,811	108.8%
事業EBITDA		11,700	13,491	115.3%
事業EBITDAマージン		22.8%	24.2%	-
営業利益		8,000	11,104	138.8%
当期利益		5,400	7,257	134.4%
為替レート (平均)	米ドル (円)	140.0	148.6	-
	ユーロ (円)	156.0	162.1	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	140.0	144.8	-
	ユーロ (円)	156.0	169.7	-

対前年同期

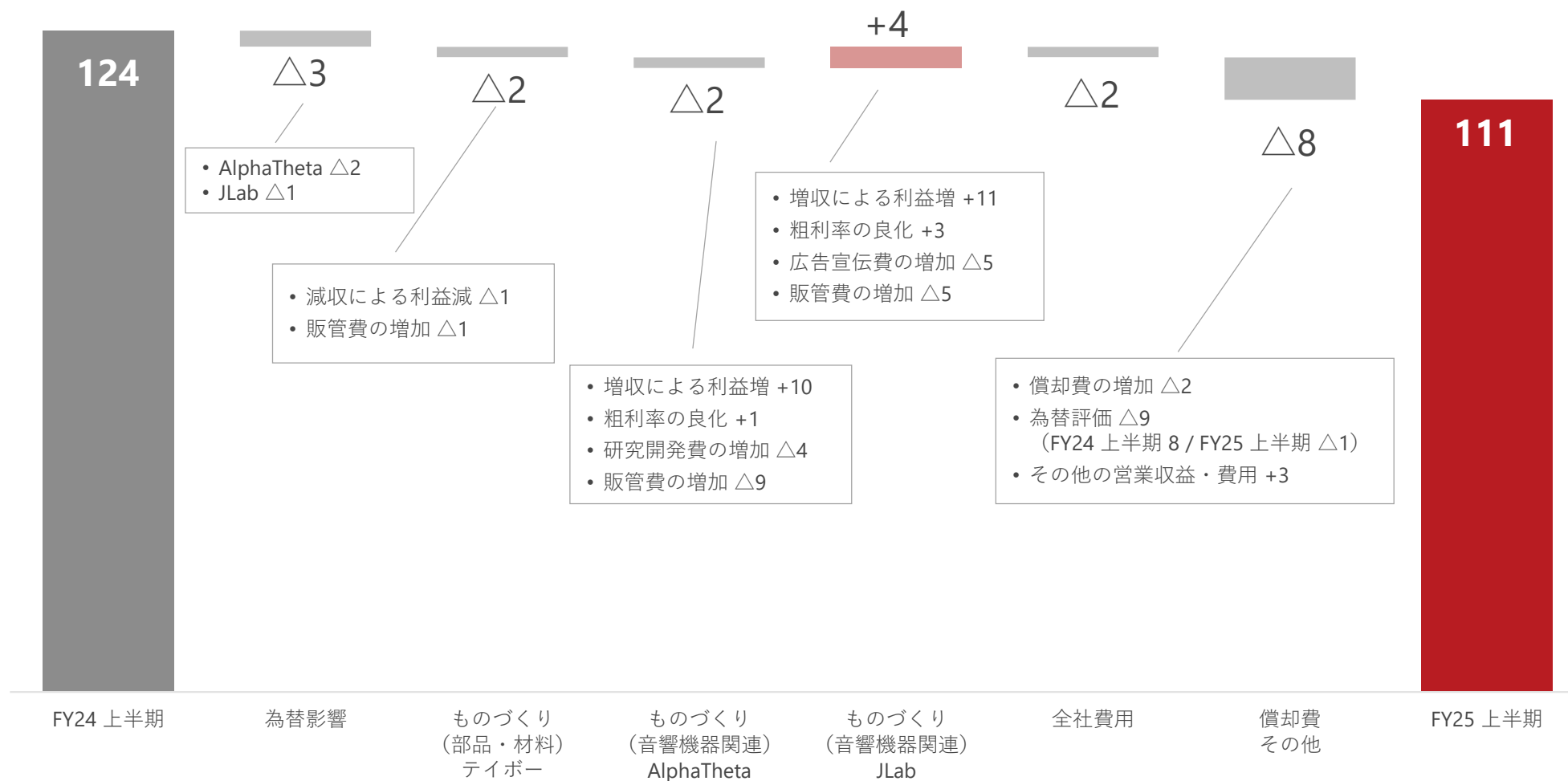
単位：億円



対前年同期

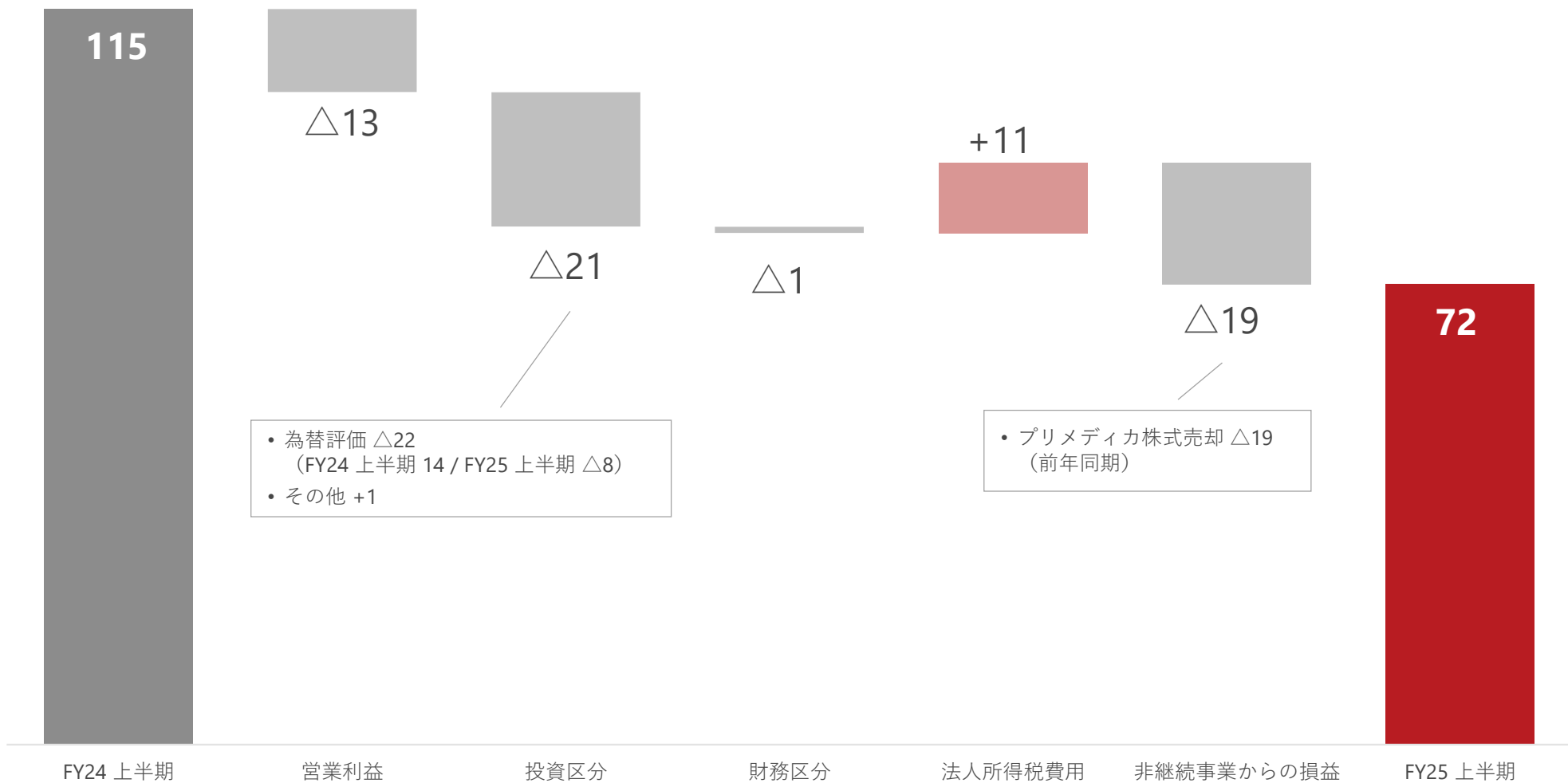
単位：億円

事業EBITDA △5



対前年同期

単位：億円



バランスシート

単位：百万円	FY24	FY25 2Q	増減額
現金及び現金同等物	92,856	92,948	① +91
売上債権及びその他の債権	16,047	17,266	+1,219
棚卸資産	22,922	22,977	+55
のれん	50,451	49,474	△977
無形資産	76,606	73,146	△3,459
その他資産	40,483	37,526	② △2,956
資産合計	299,368	293,340	△6,027
仕入債務及びその他の債務	10,252	8,765	△1,486
借入金	33,823	31,623	△2,200
その他負債	32,331	35,086	③ +2,755
負債合計	76,408	75,476	△932
資本合計	222,960	217,864	△5,095

財務健全性

有利子負債	33,823	31,623	△2,200
現金性資産	111,102	108,608	△2,494
Net Debt	△77,279	△76,985	+293

主な増減要因

- ① 現金及び現金同等物 +1億円
 - ・ 営業CF +75億円
 - － 営業利益 +111億円
 - － 償却費 +29億円
 - － 営業活動に係る資産・負債の増減 △50億円
 - － 法人所得税費用の支払額及び還付額 △17億円
 - ・ 投資CF +36億円
 - － 政策保有株式の売却 +40億円
 - ・ 財務CF △93億円
 - － 借入金の返済 △23億円
 - － 自己株式の取得 △20億円
 - － 配当金の支払い △44億円
 - ・ 為替評価による換算差額 △18億円
- ② その他資産 △30億円
 - ・ その他の金融資産 △35億円
- ③ その他負債 +28億円
 - ・ 繰延税金負債 +11億円

単位：百万円		FY24 上半期	FY25 上半期	増減額	増減率	増減率 (為替影響除く)
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	5,843	5,698	△145	△2.5%	△1.7%
	事業EBITDA	1,522	1,312	△209	△13.8%	△12.9%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	46,919	50,113	+3,193	+6.8%	+9.0%
	事業EBITDA	12,997	12,832	△164	△1.3%	+1.1%
AlphaTheta	売上収益	33,260	34,297	+1,036	+3.1%	+5.1%
	事業EBITDA	10,694	10,274	△419	△3.9%	△1.6%
JLab	売上収益	13,658	15,815	+2,156	+15.8%	+18.7%
	事業EBITDA	2,302	2,558	+255	+11.1%	+13.9%
全社費用	事業EBITDA	△479	△654	△175	-	-
連結合計	売上収益	52,763	55,811	+3,048	+5.8%	+7.9%
	事業EBITDA	14,040	13,491	△549	△3.9%	△1.6%

(参考) 上半期セグメント別予想に対する進捗率

単位：百万円		FY25 上半期 5/9付修正予想	FY25 上半期 実績	進捗率
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	5,900	5,698	96.6%
	事業EBITDA	1,500	1,312	87.5%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	45,400	50,113	110.4%
	事業EBITDA	10,800	12,832	118.8%
AlphaTheta	売上収益	31,100	34,297	110.3%
	事業EBITDA	8,800	10,274	116.8%
JLab	売上収益	14,300	15,815	110.6%
	事業EBITDA	2,000	2,558	127.9%
全社費用	事業EBITDA	△600	△654	-
連結合計	売上収益	51,300	55,811	108.8%
	事業EBITDA	11,700	13,491	115.3%

Contents

1. FY25 上半期連結業績
2. **FY25 通期連結業績予想**
3. トピック

上半期の進捗率は高く推移したものの、不確実性を考慮して5/9付修正予想を維持

米国関税政策の影響

- テイボーは、米国メーカーと価格交渉の結果、影響は軽微
- AlphaThetaは、相互関税10%を前提に7月より販売価格に転嫁。10%を超える関税分については、価格転嫁の基本方針を持ちつつも、顧客層の拡大も考慮し、市場動向を見ながら判断
- JLabは、現在、主要製品のワイヤレスイヤホンやキーボード、マウス等が相互関税の対象から除外されており、影響は軽微

見通し

- 想定為替レートは、5/9付修正予想から変更せず
- テイボーの筆記分野の停滞によるマイナス影響をJLabの販売好調により吸収
- AlphaThetaは、上半期にDJ向けアプリケーションで利用していた決済代行会社の破産によるマイナス影響が通期に渡って生じる見込みであるが、DJ機器の販売好調により吸収
- 米国の関税政策の影響等、下半期に渡る不確実性を考慮

5/9付修正予想から変更なし

単位：百万円		FY24	FY25 5/9付修正予想	増減額	増減率
売上収益		106,539	110,700	+4,160	+3.9%
事業EBITDA		24,283	22,500	△1,783	△7.3%
事業EBITDAマージン		22.8%	20.3%	△2.5pt	-
営業利益		19,897	16,000	△3,897	△19.6%
当期利益		16,120	10,700	△5,420	△33.6%
為替レート (平均)	米ドル (円)	151.6	140.0	△11.6	-
	ユーロ (円)	164.0	156.0	△8.0	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	158.2	140.0	△18.2	-
	ユーロ (円)	164.9	156.0	△8.9	-

* FY24はIFRS18号の適用により遡及修正しておりますが、監査前の数値です。

Contents

1. FY25 上半期連結業績
2. FY25 通期連結業績予想
3. トピック

音響機器関連では、AlphaThetaブランド初の製品「OMNIS-DUO」（2024年発売）が、「Red Dot Design Award 2025*」において、プロダクトデザイン部門の最高賞Best of the Bestを受賞
また、JLabは新たに「スピーカー」カテゴリにおいて、4製品を発売

■ テイボーグループ

筆記事業において、「香りの技術・原料展2025」（6月）、
「筆記展示会・上海文化用品交易会」（6月）に出展。販売活動を促進。



中国・上海で開催された「筆記展示会・上海文化用品交易会」の様子

■ AlphaTheta

AlphaThetaブランド初の製品であるポータブルオールインワンDJシステム「OMNIS-DUO」が、「Red Dot Design Award 2025*」において、プロダクトデザイン部門の最高賞Best of the Bestを受賞。



* Red Dot Design Awardは、ドイツのノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター（Design Zentrum Nordrhein Westfalen）が主催する国際的なデザイン賞

■ JLab

新カテゴリ「スピーカー」コレクションを発売開始。どこでも連れて行ける防水Bluetoothポータブルスピーカー4種をラインナップ。



<https://www.jlab.com/collections/portable-bluetooth-speakers>

Appendix

単位：百万円		FY24	FY25 5/9付修正予想	増減額	増減率	増減率 (為替影響除く)
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	11,975	12,400	+424	+3.5%	+3.9%
	事業EBITDA	3,270	3,300	+29	+0.9%	+0.8%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	94,564	98,300	+3,735	+4.0%	+10.9%
	事業EBITDA	22,024	20,500	△1,524	△6.9%	+0.9%
AlphaTheta	売上収益	62,588	64,700	+2,111	+3.4%	+9.4%
	事業EBITDA	17,630	16,500	△1,130	△6.4%	+1.4%
JLab	売上収益	31,975	33,600	+1,624	+5.1%	+13.8%
	事業EBITDA	4,394	4,000	△394	△9.0%	△1.4%
全社費用	事業EBITDA	△1,010	△1,300	△289	-	-
連結合計	売上収益	106,539	110,700	+4,160	+3.9%	+10.1%
	事業EBITDA	24,283	22,500	△1,783	△7.3%	△0.3%

- 米ドル及びユーロ取引が多いAlphaTheta及びJLabで影響あり
- 円安はグループ全体では営業利益プラスの影響

概要

テイボー

- グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため**対米ドル、対ユーロともに影響は僅少**

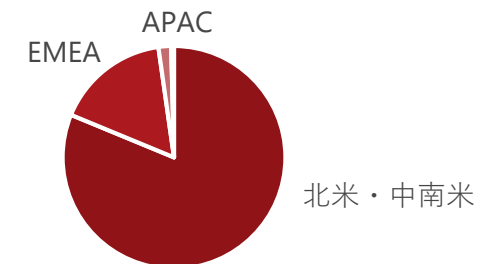
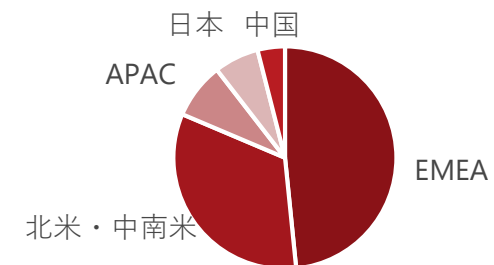
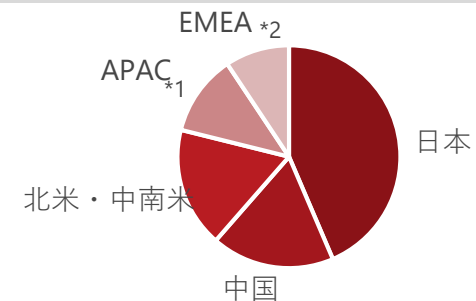
AlphaTheta

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- EMEAの売上収益が大きいいため、**対ユーロで円安は利益プラス**
- 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入と相殺されるため、**対米ドルの影響は軽微**

JLab

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- 米国の売上収益が大きいため、**対米ドルで円安は利益プラス**
- 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微

FY24 地域別売上収益構成比



*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

為替の通期連結業績への影響は以下のとおり

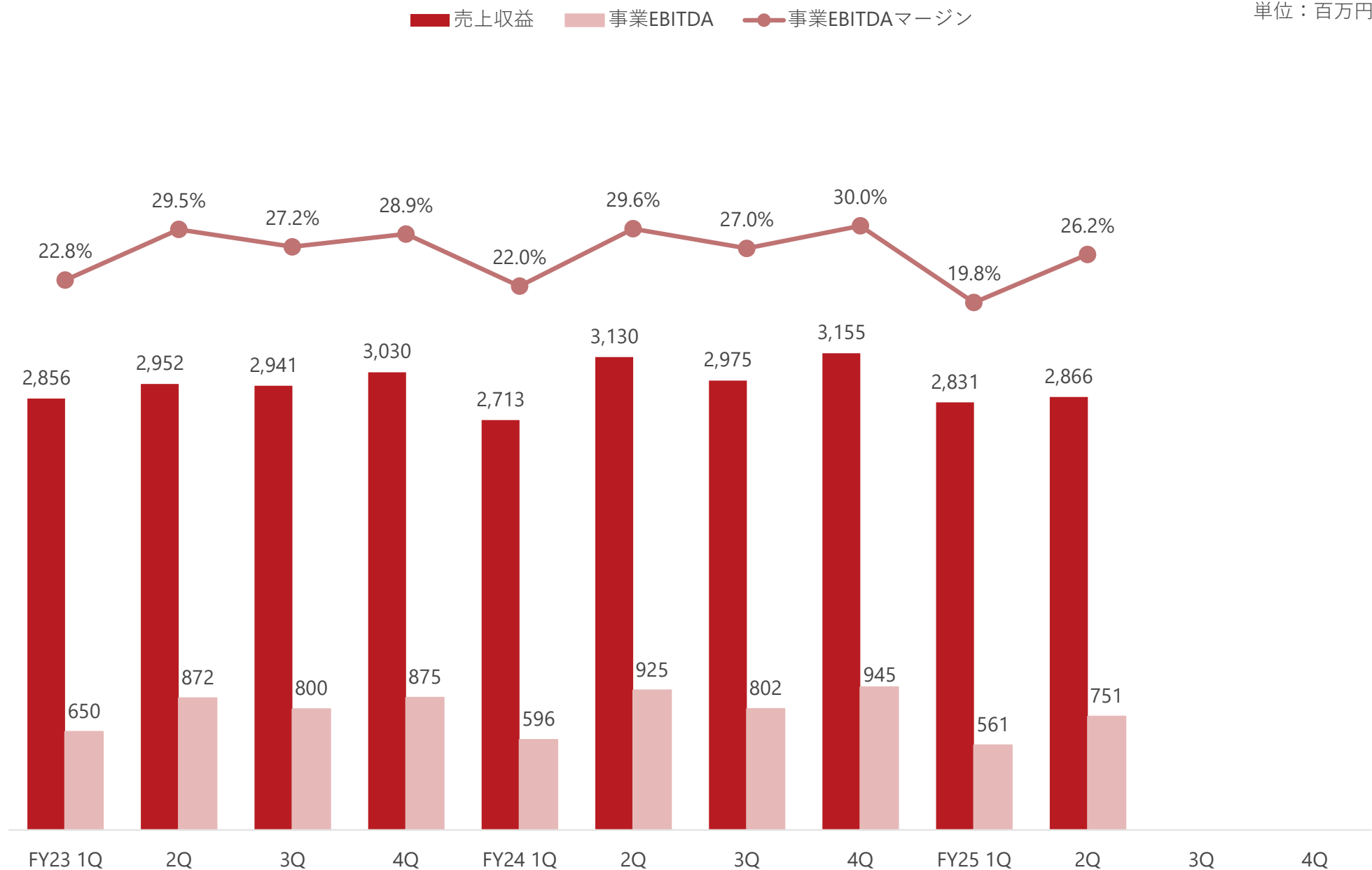
※2025年8月8日更新

為替レート（平均）の1円円安による影響額

通貨	FY25 予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	140.0円	+4.4億円	+0.4億円	+0.4億円
ユーロ	156.0円	+1.9億円	+1.6億円	+1.6億円

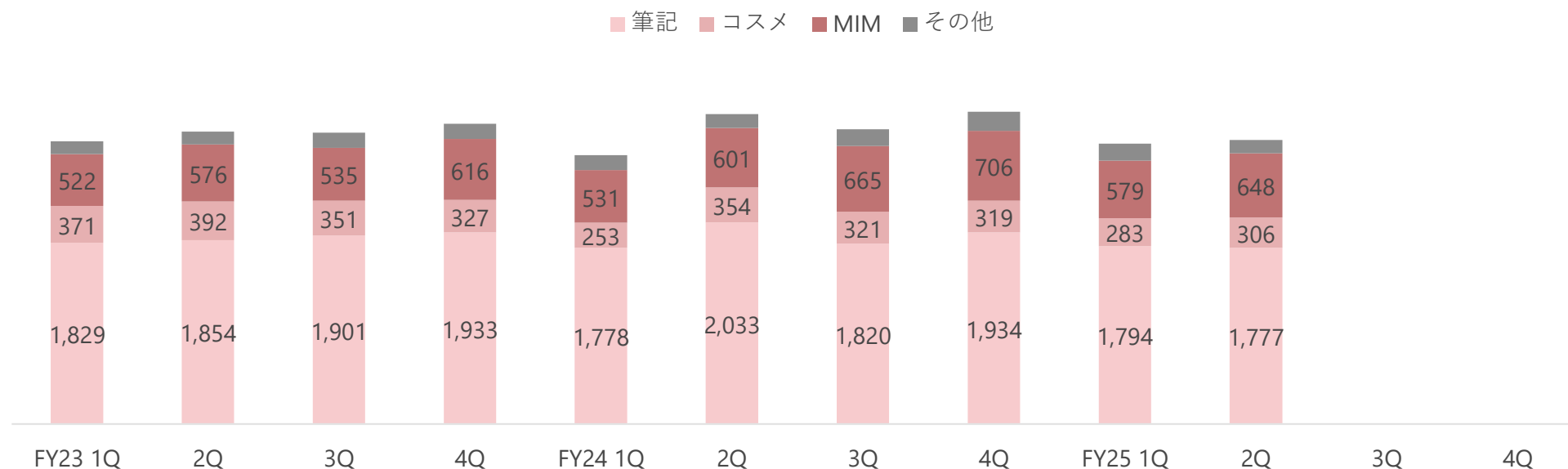
為替レート（期末）の1円円安による影響額

通貨	FY25 予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	140.0円	-	-	+0.1億円
ユーロ	156.0円	-	-	+0.3億円



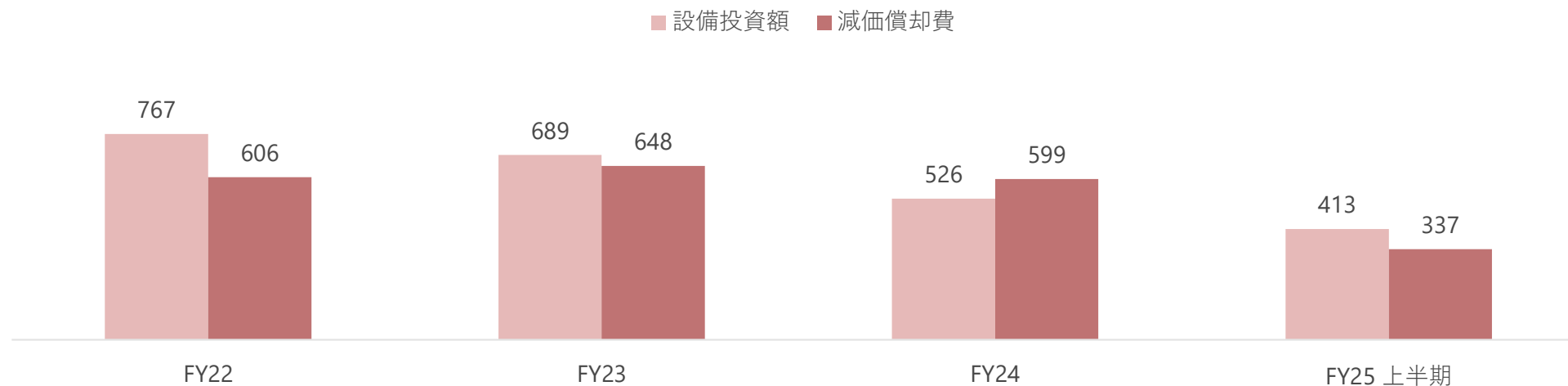
カテゴリ別売上収益推移

単位：百万円



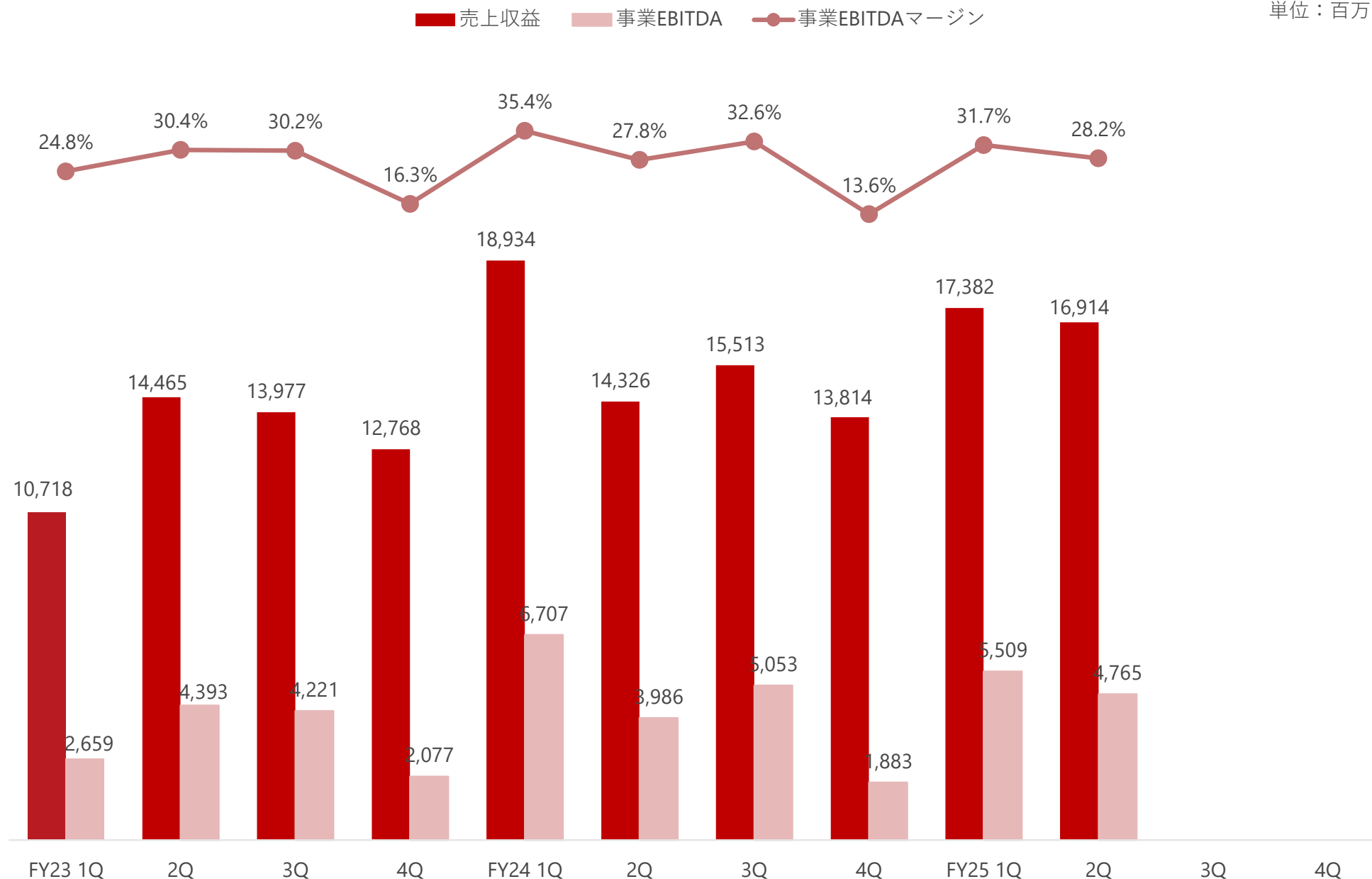
設備投資・減価償却費^{*1}

単位：百万円



^{*1} 使用権資産に係る償却費及びPPAの償却費を除く

単位：百万円

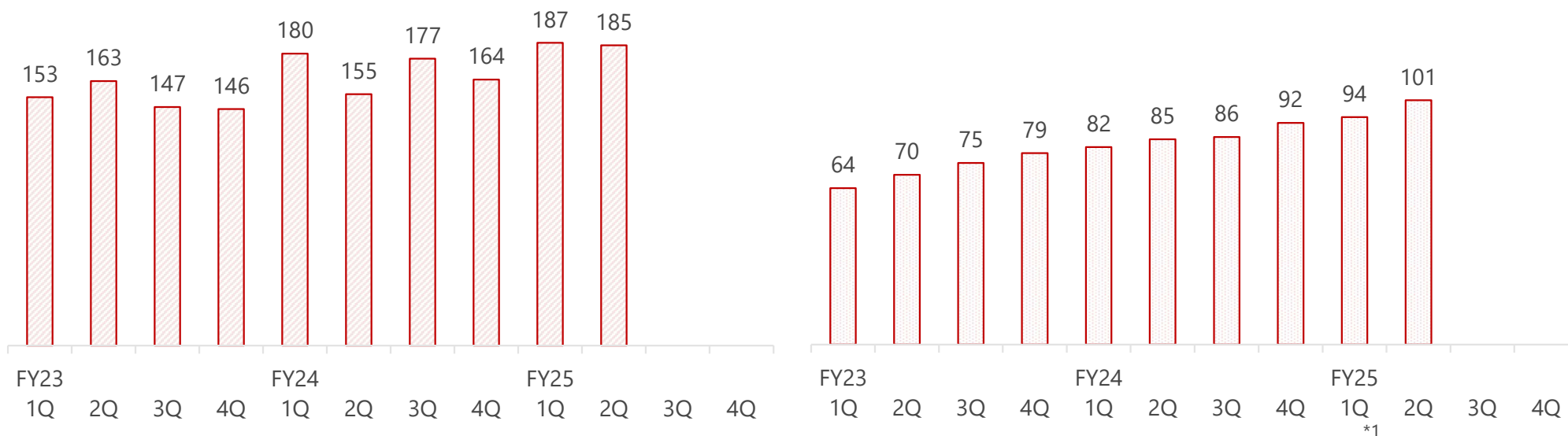


DJ機器出荷台数

単位：千台

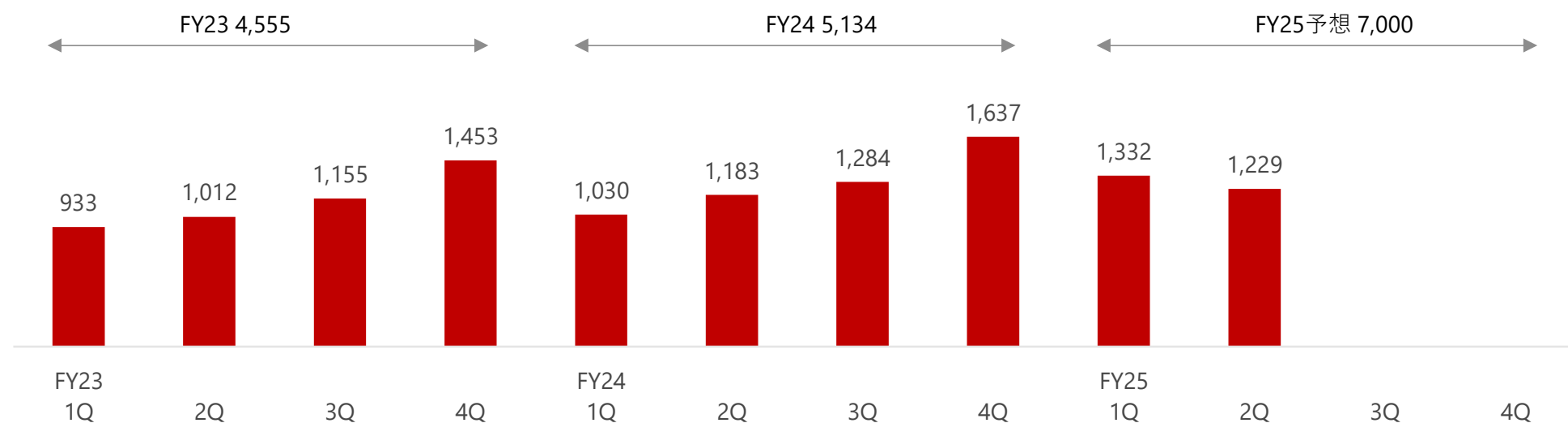
DJ向けアプリケーションMAU

単位：万人



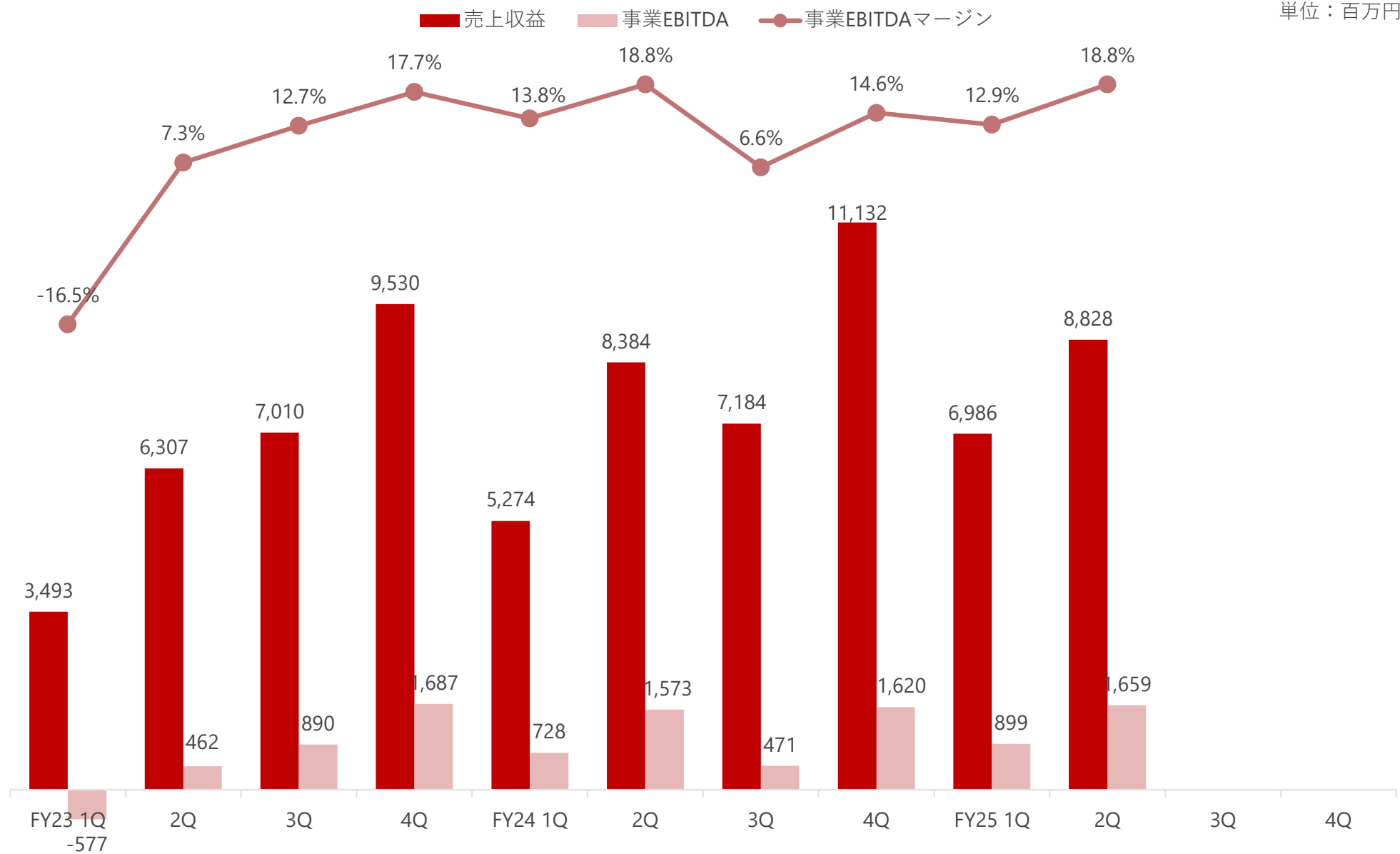
研究開発費^{*2}

単位：百万円

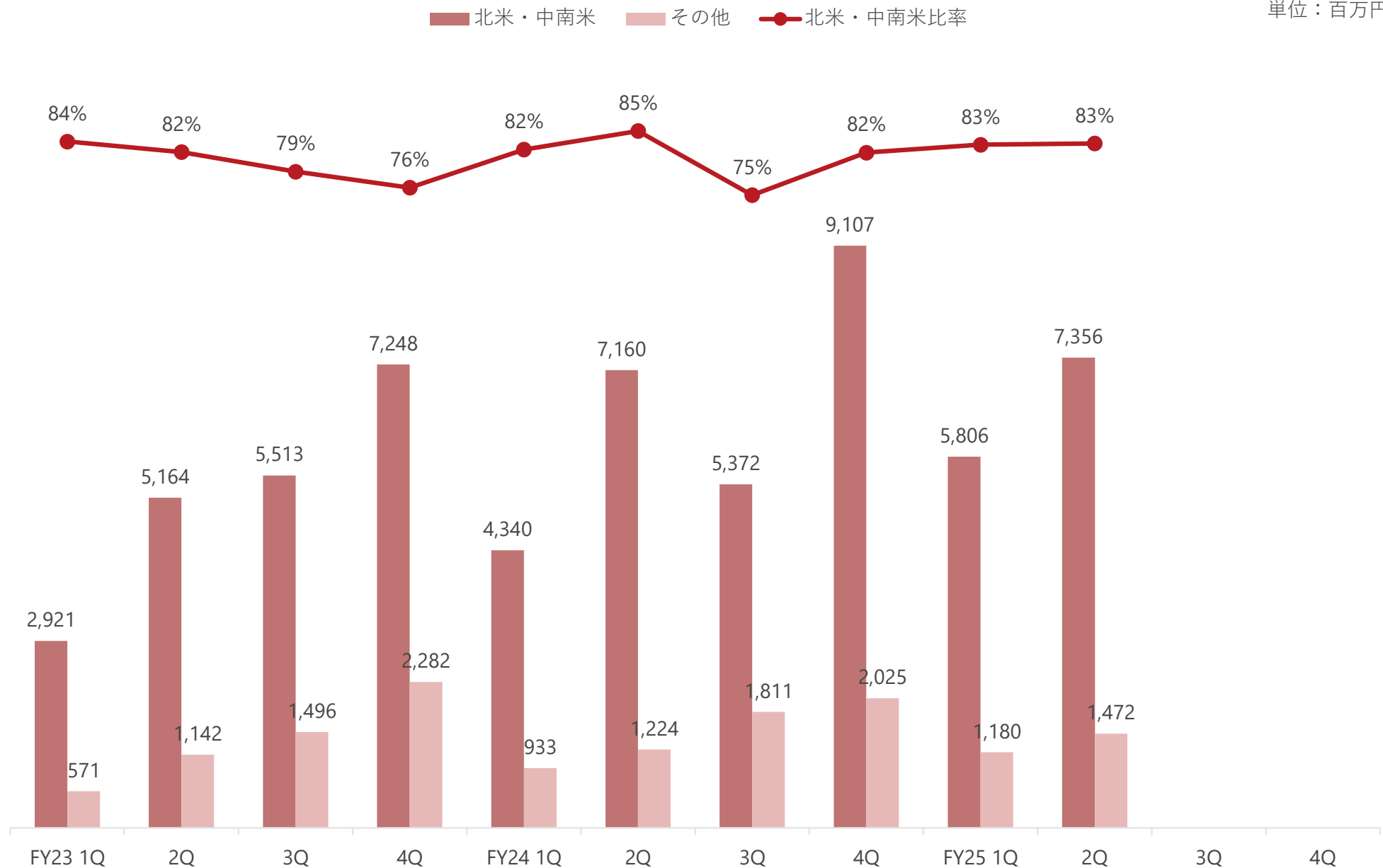


*1 システムエラーによりデータが欠落した2025年2月分を除く

*2 FY25 2Qに研究開発費の定義を見直し、FY23 1Qから数値を更新



単位：百万円



社名 ノーリツ鋼機株式会社（プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,126,028,200円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役	岩切 隆吉	取締役 (監査等委員)	太田 晶久
	横張 亮輔		高田 剛
	村瀬 和絵		町野 静

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 5,000万円
主要株主 テイボーホールディングス株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

■グループ会社

泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
 ・マーキングペン先部品の中国における製造・販売拠点

株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
 ・コスメ用ペン先部材の製造・販売

MIM製品の製造事業

浜松メタルワークス株式会社

会社名 浜松メタルワークス株式会社
代表者 代表取締役社長 鈴木浩
資本金 5,000万円
主要株主 テイボーホールディングス株式会社
事業内容 MIM製造部品の製造・販売及び研究開発

* テイボーホールディングス株式会社はノーリツ鋼機の100%子会社です

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
 （旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■販売子会社

AlphaTheta EMEA Limited
AlphaTheta Music Americas, Inc.
AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.
AlphaTheta SG Pte. Ltd.

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Win Cramer , CEO
資本金 19M USD
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイス及びテクノロジー製品の設計及び販売